

# JCD KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers

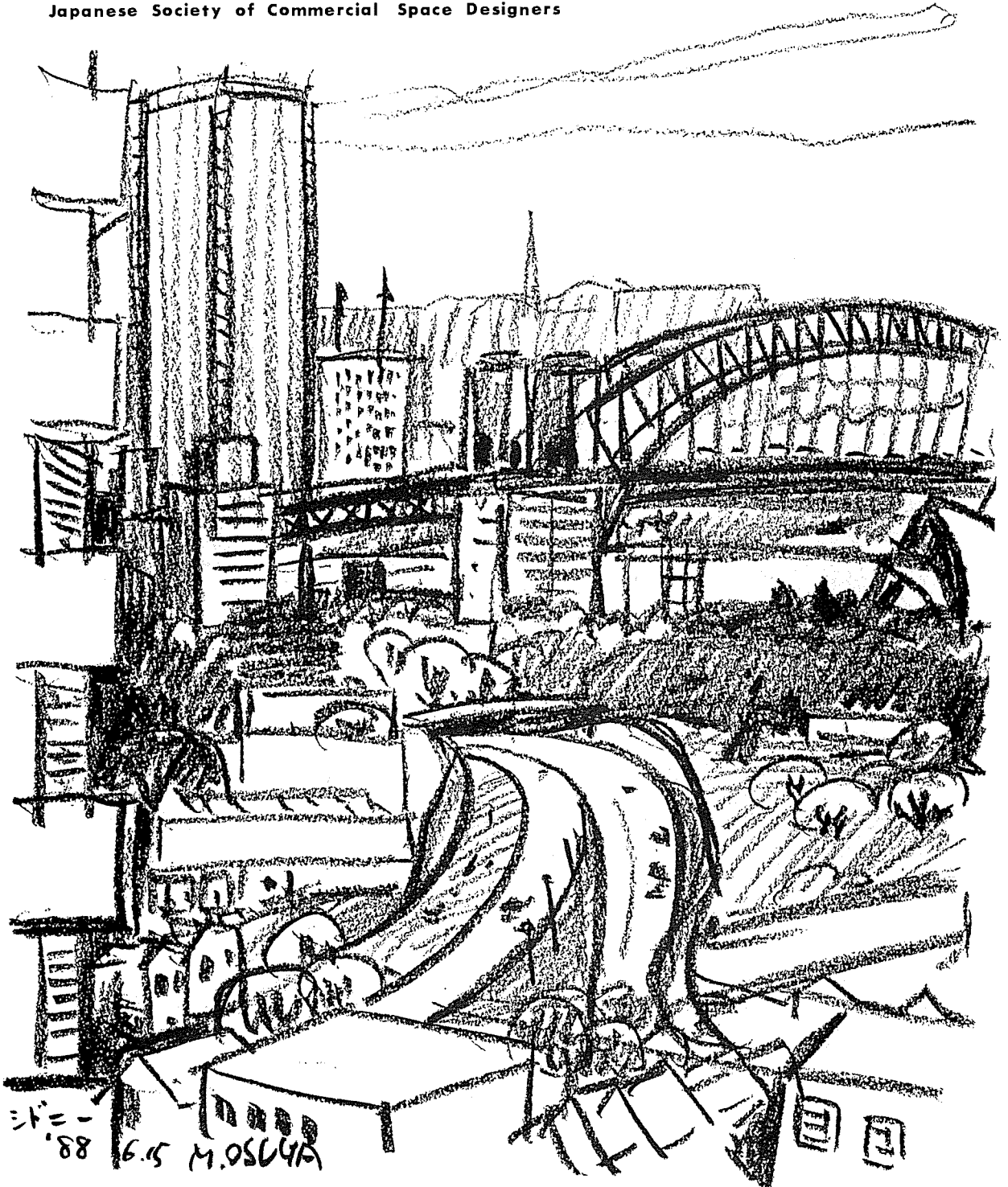
社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会

〒550 大阪市西区南堀江 1-26 南堀江スカイハイツ1201号

☎ 06-543-0680

昭和63年8月

第16号



■ 表紙	シドニースケッチ	大菅満義
■ 第2回アジア三国スペースデザイン会議 (6月18日ソウル)	小宮容一	3 ~ 5
■ 第2回アジア三国スペースデザイン会議 '88 ソウル	原田隆夫	5 ~ 6
■ 韓国見て歩く	山田鋭央	7 ~ 9
■ "オーストラリア駆け足記"	野村武彦	10
■ 建国200年のオーストラリアに行く	高城茂四郎	11 ~ 12
■ ブラジル"とにかく見てやろう、聞いてやろう"	要 信行	13 ~ 15
■ スシマス・東大阪市小阪 ジャスコ店	松田 毅	16
■ 盛り上がる談話室と夏季パーティー (7月23日)	太田真昭	17
■ 第65回 J. C. D. ゴルフ同好会		18
■ JCD中部支部運営		19
	都市環境デザイン会議 '88 名古屋	
	都市・商い・環境——デザイン	
■ 委員会だより		19

### 広告索引

松下電工株式会社	裏表紙
小泉産業株式会社	表裏紙
株式会社 遠藤照明	5
マックスレイ株式会社	9
株式会社 キノシタ	11
株式会社 A B C 商会	18



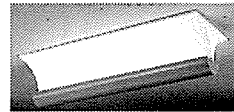
NEW WAVE. A SENSE OF LIFE  
**KOIZUMI**

## これはもう 光天井。 インダイレクトユニット INVENT

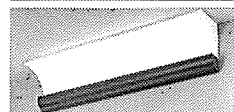
インベント

コイズミから新しいFLLインダイレクトユニットINVENT誕生。レフレクターで反射された光が本体のバツフルで柔らげられ、空間全体に広がります。光の表情の豊かさ、展開の可能性、そのいずれもがINVENTの格別の良質さを物語ります。

●天井取付けタイプ(AH-72515)  
空間のコア照明に、反射板つきセード(3色)と組合わせます。直線連結展開もできます。



●天井・壁面取付けタイプ(AH-71515)  
反射板つきセード(3色)と組合わけて、壁面演出に、直線連結展開もできます。



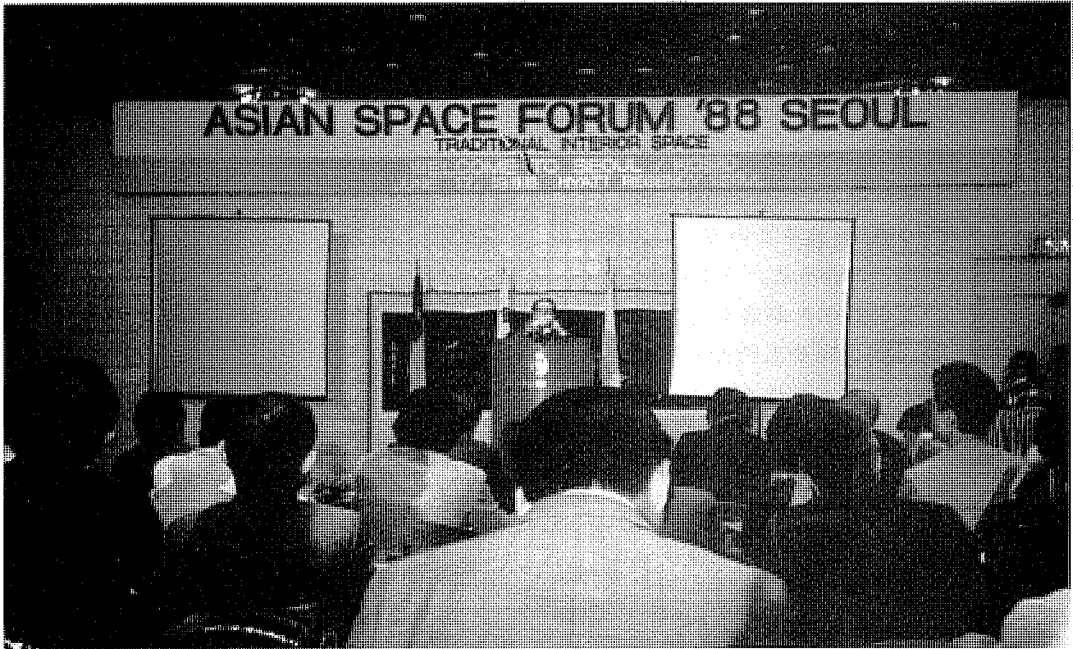
●スリット入セード(AE-90464)  
AH-72515に取付けると、全体光と、スリットからの下方光が得られます。



### 小泉産業株式会社

照明事業本部 TEL.06-262-0851  
〒541 大阪府東区備後町3丁目 長谷ビル3F  
本社 TEL.06-262-1751  
〒541 大阪府東区備後町4丁目43  
東京支社 TEL.03-863-2359  
〒101 東京都千代田区神田佐久間町3丁目12

## 第2回 アジア三国スペースデザイン会議 (6月18日ソウル)



### 会議報告

小宮 容一

#### 各国代表メッセージ

- KOSID 会長 金 圓錫氏 (韓国)  
2 回目にあたるこの三国国際会議において、  
①この会議の目標設定と理念を確立する。  
②この会議の形態と組織・運営方法の確立  
をしていく。  
の2点を心がけたい。
- JCD 理事長 高村 英也氏 (日本)  
この三国が、産業優先だけでなく、3000年  
の風土と伝統を持つ国であることを世界に  
知らしめるべきだと考える。そして、本日  
の会議が人間のメンタルエモーションの目  
標を持てると確信している。



▲ 会議参加の高村理事長と西協副理事長

- OSID 理事長 李 嗣彦氏 (台湾)  
この会議において、有益な情報交換が行わ  
れることを、又、知識の向上を期待する。

## 各国現況報告 日本・韓国・台湾

### ● JCD関東支部研究開発副委員長 岩佐 達雄氏

#### 1. インテリア関連産業の現況

今日、日本のインテリアスペースのデザインと施工の区分は、次の4つに分類することができる。

- 1) 総合施工業者：設計施工
- 2) 建築設計事務所：計画とデザイン
- 3) 内装施工会社：デザインと施工
- 4) インテリアデザイナー：ニューデザイン

#### 2. 時代の要求によるデザインテーマの変化

60年代は作れば売れるという、供給側の自信満々の時期であった。70年代に入って、高度成長のひずみが表面化してきた。80年代は、公害問題や人間性の追求を受けて、ポストモダンやハイテクデザインなど多様なデザインの時代となっている。

#### 3. デザインクリエーションの新傾向

社会環境の多様な状況に対応するために、プロデューサーと様々の分野のデザイナーとの共同作業となってきた。

#### 4. これからの時代

インテリアデザインは、社会＝都市のかかわりと個性的で新鮮なデザインが求められている。

こうした様々の変化によって、この仕事がジョイントワークにより進められるようになることと云える。このことは、日本だけでなくアジアのそして世界の傾向となり、そういう意味で、我々の連帯関係の持続が重要である。

### ● KOSID理事 朴 弘氏

韓国のインテリアデザイン：過去・現在・未来

#### 1. 室内空間と人間生活

インテリアデザインは、人間環境をより能率的で快適なものとする専門分野である。

社会が人間性の喪失を見せる中、その歯止めとなるのもインテリアデザインの役

割である。

#### 2. 明期の作家の状況

明期1950年代は、舞台装置、肖像画、絵画や看板などの商業美術分野の人々の加わったものであった。

韓国戦争後の復興期、ティーハウスやストアの商業効率達成のためのデザインが行われた。

#### 3. コンセプトの導入とテーマの変化

1960年代、応用美術のセンスを持った建築家によって、建築設計と施工技術の進歩と造形的試みが行われた。

1970年代、各種材料の開発と社会経済の急速な成長期で、インテリアデザインの定着時期であった。

1980年代、意欲的創作が、世界趨勢である新古典主義や、ポストモダンなど多辺化時代を予告している。

#### 4. デザイン運動とKOSIDの設立

1960年代以降、若い作家の個展や新聞・雑誌での誌上発表等の動きがあった。

1970年代後半になって、同人の組織的な動きが起ってきた。1979年3月25日、協会創立の発起人会ができた。16ヶ月後の1979年7月28日、KOSIDが創立した。1982年3月23日、社団法人となり、名実共に公認団体となった。

#### 5. 展望と期待

現在、会員410名である。オリンピック以降、景気沈滞が予想されるが、大衆化の趨勢と領域の細分化で克服できるであろう。さらに、量から質への変換の追求によって、体質改善と整備が期待できるであろう。

### ● CSID管理理事 姚 仁祿氏

CSID会員の作品—スライド—

#### 1. 会員の作品

—ハイテク感覚の住宅設計が多い—

—東洋と西洋のバランスのある

空間が見られる—

## 2. CSIDのインフォメーション

- 1979年設立 • 会員 319名 内12%女性
  - 平均年齢 35才 • 年間 5万ドルの活動費
- 来年、台湾で会いましょう。

テーマレポート 台湾・日本・韓国

- CSID会員 黄 永洪氏(台湾)  
スライドを通して、伝統的中國の造園の手法をアレンジした黄氏のオフィス設計の作品が紹介された。
- JCD副理事長 武石 馨氏(日本)  
スライドを通して、日本の伝統的農家や数寄屋のモチーフを用いた武石氏設計の飲食店舗などが発表された。
- KOSID学術顧問委員 申 榮勲氏(韓国)  
スライドを通して、オンドル(温窓)と居間を持つ伝統的韓国の住居空間の特徴的構成と、仏教・儒教の教えに基づく構成が紹介された。

最後に、韓国 KOSID 会長 金圓錫氏が、1989年 第3回 会議の開催を提案され、台湾 CSID 理事長 李嗣彦氏がこれを受諾されました。 以上

## 第2回アジア3国スペース デザイン会議'88ソウル

原田隆夫

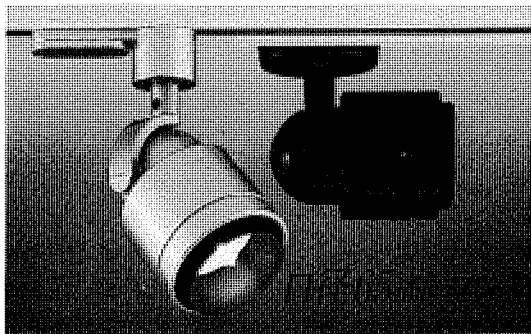
6月16日 大阪国際空港に、Asian Space Design Forum '88 Seoul のみに参加する真面目一本の会員が4名、(私もその一人である) 真剣に勉強した後、精一林スポーツを楽しむメンバー3名、セミナーで知識を吸収し、さらに見聞を広げる意気に燃える向学心旺盛な会員4名の計11名が勢揃いをした。

初めての韓国、再度の訪韓、それぞれの会員が互いに情報交換を行ないつつ税関のゲートをくぐる。

その前に旅行代理店の係員から電池類は携帯しない様にとの注意があり、平和を当然の事と考えている日本人の一人である自分を思い知らされる一幕があり、あゝ自分はあの KAL に乗るんだと再認識をさせられた。

左党のメンバーは滞在中の寝酒として、高価なブランデーやスコッチを、愛煙家は買い置き煙草を其々仕入れ終えて機内の人に、約2時間のフライトはいつもの出張より短かく、あっという間に金浦空港に到着。

入国審査は厳しいと聞いていたが、厳しいというよりは丁寧すぎるというイメージに近かった。とにかく、自分の目指しているゲートの係員が一番丁寧だと今でも信じている。前に並んでいる人の時は何を聞いているのかわからず、長いな、長いな、と思っているばかりであったが、自分の時は、まず名前の照合、



小型化の限界を追求した超小型スポット、アルファ・ミニ。口径65mmのコンパクトサイズとコードレスのシンプルデザインで、ショーケースなどの狭い場所や低天井スペースなどに最適。豊富なラインナップで、プランに合わせて選べます。

**Lighting ENDO** 株式会社 遠藤照明 本社 TEL06 (973) 1250 FAX06 (973) 1252 東京SP TEL03 (632) 5480 FAX03 (632) 7329 大阪SP TEL06 (768) 7624 FAX06 (765) 1263

8月1日から総合カタログが新しくなります。ご請求ご一報下さい。

コンパクト&シンプルを追求。アルファ・ミニ

すぐ下を向きモニターと書類に見いる、約10秒後に訪韓目的、又下を向き約10秒、静かな口調で滞在日数、又黙すること10秒～15秒、年齢の照合、再び視線を下方に、考えているのか調べているか、今度は30秒もまったろうか訪韓は何度目かと聞く、初めての韓国と答える。その後、出生地、職業、最近の訪問国名などすべて10～15秒の間隔をおいて聴問、他の係員が何か打合せに來たり緊張というよりだれてしまう入国審査であった。

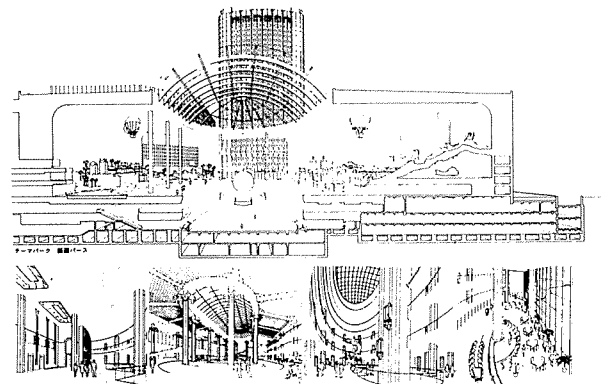
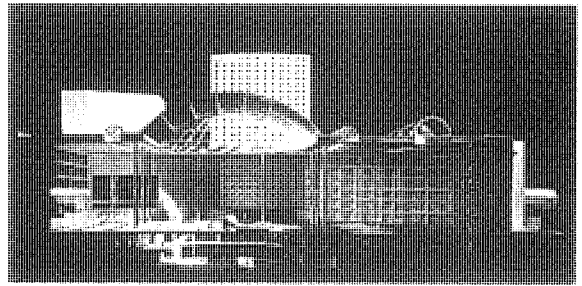
おかげで税関の人ばかりはまばらで楽々と通関、しかし、ゴルフクラブを持って來た会員は、クラブを一本々々、銘柄まで書き込みチェック、到着してから税関を通過するまでゆうに1時間半は経過していたろう。

旅行代理店が我々の為めに午餐を用意して貰っていたが、その巨龜楼に着いたのがサマータイムも手伝って3時半頃であった。巨大な石材による龜の彫刻が立ち並ぶ庭をもったこのレストランは、植わっている植物が日本と同じ種類のものである為か、日本のどこかに居る様な錯覚を覚えた。

今日は午後にはオリンピック競技場とロッテワールドセンターを視察する予定であるので午餐もそこそこに、バスにて競技場へ、しかし残念、あまりにも時間が遅く、サッカーの試合があるとの事で、バスの車窓から建築物の偉容を見るに留まる。ロッテセンターは今年の9月のオープンに向けて工事の真最中で、これまた遠望するにとどまった。

ホテルにチェックインの後、すぐ晩餐の焼肉レストランへ、流石本場の焼肉、舌つづみをうちつづけて満腹。KOSIDの好意でこの後パーティが用意されていたが、セミナーのみ出席の私達4名はソウルを自分の足で歩く機会が全くなくなるため、その好意を辞して明洞地区へ、サマータイムと営業時間9時半までを有効に利用して、やっと自分の足でソウルの繁華街の雑沓を確かめた。

6月17日セミナーの後これまたKOSID



の好意でパーティが催される、民俗芸能を観覧した時、日本の民俗芸能のルーツはこれなのではと感じたのは私だけでは無いだろう。それほど日本人の心をうつものばかりである。今日も、はや夜の8時であるが、南大門市場をまだ見ていない為、急いでTAXIをとばす。韓国の人達のバイタリテイが100%感じられるこの雑沓は、私達日本人が忘れかけた庶民の生命の息吹が、力が、ストレートに沸きかえっている数少ない場所である。

明日は帰国であるが、このセミナーにかけるKOSIDの意気、客を迎える心配り、このあたりも、歓迎とはこうするものですよ、と忙し過ぎる我々日本人に、東洋の伝統を教えられた様な数日であった。

以上

## 韓国見て歩く

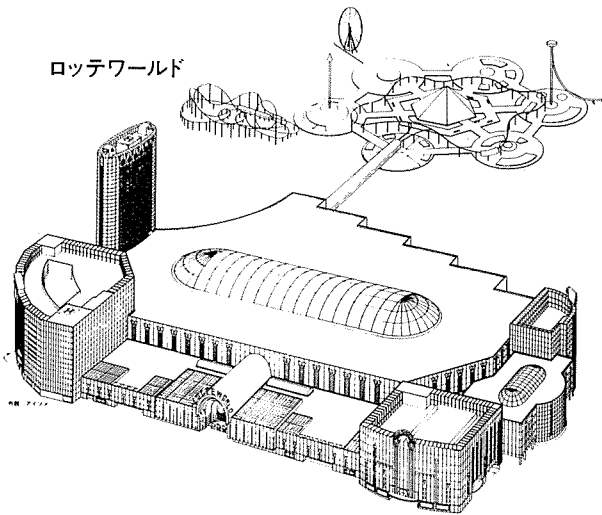
山田悦央

アジア3国会議がおわり、その後はソウル、慶州、釜山への視察をする事になっており、第1日目はソウル市内と、李王朝最大の故宮、景福宮、韓国最大規模の廟、宗廟、高麗の青磁、李朝の白磁等10万点もの文化財が所蔵されていると言う国立中央博物館等を見学する事になっているので、朝9時にハイアットホテルを後に私たちを乗せたバスは走り出した。

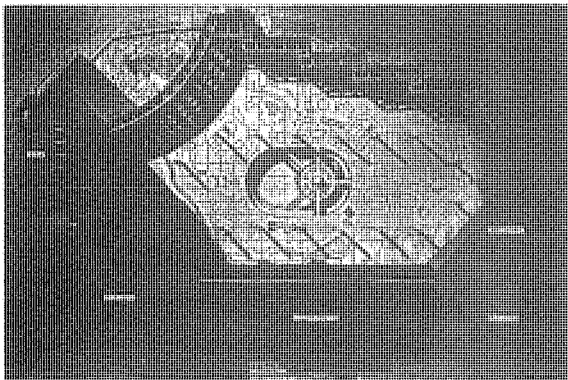
景福宮はたおやかな淡色の花をもつ、国花無窮花が王朝をほんのり染めており、又屋根には魔除けの鬼龍子が点々と並べられ、軒下は極彩色豊かに円青、朱等で塗り込められた庇が目を覆い、華やかな時代が今もなお健在であるといわんばかりである。花の景福宮を後に屋なお暗い程にこんもりと繁る樹々にかこまれた宗廟へと向った。ケヤキ、マツ、ヤナギ等々ちょっと見ただけで解らないほど多くの樹種である。景福宮と同時期に造られた李王朝を祀る廟で、宗廟正殿と永寧殿に至る板石を敷きつめた神道と街道は、宗廟の自然そのものの様な空間の中に、人工の秩序をくっきりと際立たせており、正殿前の板石を敷きつめた広い庭は、荘厳な美しさを引き立たせていた。

午前中は、ゆったりと偉大な李王朝の建造物に圧倒され驚かされた。

午後はソウル市内をあとに水原城へ向かった、水原城は今も韓国の歴史を城壁内でかこ



ロッテワールド



- アジア三国スペースデザイン会議も来年第3回、台北で開催決定 慶賀
- 昭和64年度は通産省がデザインイヤーを推進、世界デザイン博の開催で名古屋市の都市環境も整備されつつ、今年はその前年、来る9月には当協会の'88都市環境デザイン会議を中部支部運営で開催、諸氏の参加や切望。(真)



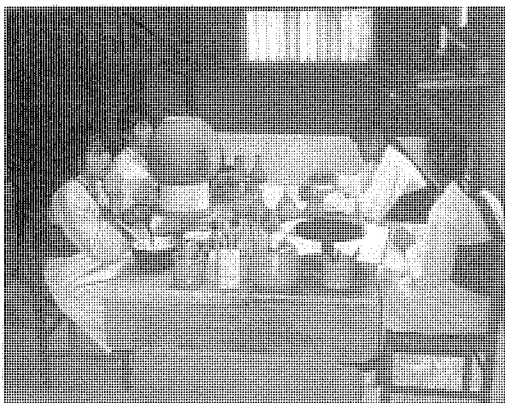
▲ 南大門市場にて

んでいる町で、北門、西門、水原城、中でも城壁はもっともよく原形が保存されているといわれており、30分程のバスの中からの視察ではあったが、忘れられない町の1つとなった。

午後からの水原城がすこし離れていた為、ゴルフ組との合流が予定時間よりも2時間近くも遅れてしまい、クレームや感情の行き違いもあり、1日はゆうにかかると韓国民俗村を40分で廻るジョギング視察でスケジュールを進める事となった。

韓国民俗村は消えゆく韓国固有の生活様式、文化を積極的に保存し、一般公開をしている民俗資料展示場である、屋外、屋内を問わず、各地の農家や両班の家、寺院、学校など230棟あり、当時の衣装を身につけて、生活様式をいろいろな分野に分け再現する事に主眼点をおいていた。ちょうどハワイのポリネシアン文化センターの韓国版と思っていただいても良いであろう。汗を流しての見学であったが日本の山村等と通じる所が随所であり以前にきた様な感じが強く残る場所であった。

ソウル市内を後に、慶州へと高速道路を利用しての移動がいよいよ始まった。この高速道路がいつ何時でもすぐさまに軍事用飛行滑走に使用出来る様に計画されていると聞かされた時、オリンピックで建築ラッシュに湧き、活気あるソウルでの平和なイメージを打ち砕き、戦闘体制下にある軍事国家韓国的一面を見た。



▲ 韓国民俗村にて



慶州へのドライブは快適であったが、到着したのが、夜の8時頃になっていた。明日のスケジュール確認時に韓国と日本の生活習慣の違いに驚かされたのである。それは、JCDから依頼された旅行会社が、「朝一番でゴルフスタートを」との依頼どおりエントリーしたのである。が普通なら喜ばしい事であるが、韓国の1番スタートは朝と言うより早朝の5時であると告げられて、ゴルフ組はおどろき、悲壮な面持ちであった。

2日目は慶州市内の視察で午前中は国立慶州博物館、永興寺址、天馬場と日本という、奈良、飛鳥地方と言った史跡を視察。

午後は仏国寺及び、石窟庵へとまわった。

新羅時代最高傑作と言われている仏国寺は第35代王・景德王の時代に造られ、石塔・多宝塔と釈迦塔が織り成す石造文化の極みを持ち、古代東アジアの仏教建築の中でも秀れたものとされており、多くの観光客でにぎわっていた。



石窟庵はバスを降りて、徒歩30分程の場所にあり、山道を歩き、良い森林浴させてもらった感がある。雰囲気的には、箕面の滝道を想像してもらえば良い。

石窟に鎮座する本尊の釈迦如来座像は3.4mもあり、その美しさは、東洋随一と言われているだけあって、後に並ぶ11面観世音菩薩像も、流麗で花重な姿であり又、純白の花崗石を積み上げての建築構造にもただ、ただ驚嘆するのみであった。

3日目は慶州郊外にある海印寺を視察し、釜山へ向かう事になっていた。

この海印寺は仏国寺と同様に、いやまた険しい山の中腹にあり、年配メンバーには、若干、体力的にきついコースではあったが、しかし、全員海印寺に到着する事ができた。

数万字の漢字が治められている建築物は、朝鮮王朝時代から現代へと荘大で、人の心の奥の深さや広さをもってせまってくるのであった。

最後の訪問地は釜山、釜山では、海雲台ビーチを見わたせる一等地に建つチョーマン・ビーチホテルに落ち着く事になった。

夕食後、海岸を散策した。海岸通りに屋台が出ており、丁度九州の中洲の川端の屋台街を見ている様で、若者たちや数多く利用しており、現代の食文化、それも若者たちの生活、食文化の一部ではあるが見る事ができた。食事に付いては全般的に言える事は美味しいと言う事、ニンニクとキムチがもつ刺激的、攻撃的な香り（臭い？）と辛さが、新鮮な漁

貝・肉類、そして野菜のもち味を潰さずに生かし、実にバリエーション豊かな食事を提供してくれた。なかでも焼肉（カルビ）がなんといっても美味しく、大きな肉をそのままアミに乗せて焼き、食べる時は、肉を切るハサミが用意してあり、ハサミで切った肉を野菜（サニーレタスの様な物）等にまいて食べるので栄養的なバランスもよくとれているのである。体に良いと言えば、古くから、不老長寿の食物として宮廷でも愛され食べられていたと言う<sup>サムゲタン</sup>蔘鶏湯で、これは高麗人参やモチ米、ナツナ、栗などをぎっしりと詰め、煮込んだひな鶏の湯で、自分の好みで塩、胡椒の味付けをして食べるのである、これもなかなかのものであった。やはり冷麺は本場とあってうまい。

日本では食べられない物も食べた。これは釜山のレストランでの海鮮料理の一品で、生だこの造りと言って、まだ元気よく動きまわっている生きていたこの造りである。口の中に一つ入れるとたこの吸盤が口のあちこちにくっつき、なんとも奇妙で生まれて初めての味覚を体験する事ができた。

韓国の食べ物はどれも皆、栄養、カロリーのバランスもよく、エネルギー、パワーの高い食べものの様で、体力、精力創りには最高である。ソウルオリンピックにおいての体力や力を必要とする種目において、この食べ物をみていると、韓国選手団が良い成績を残すことは間違いないところである。

## マックスレイはメリハリのある空間を提案します。

SEシリーズはメリハリのある空間作りをコンセプトに新設計マルチミラー反射板を開発、シャープなエッジでキレイのよい光を放ちます。熱線を約80%カットするダイクロイックコーティングで熱に弱い照射物にも最適。配光・ワット数・ボディーカラーなど豊富なバリエーションも、これからの照明プランに新しい拡がりをお届けします。



**maxRAY**  
A Harmony of Light and Space

マックスレイ株式会社  
本社：大阪市城東区野西2-18-6 〒536 TEL.06-967-0140  
東京支店 03-791-2711 大阪支店 06-967-0123  
京都営業所 075-255-5663 福岡営業所 092-431-7824

## SE SERIES



集光タイプ

MS1257-54

## 〃 オーストラリア駆け足記 〃

野村武彦

「Tea or Coffee」パーサーのやや巻き舌な問いかけに、アアー、海外に出たなァーという感激は毎回の事である。

EXPO '88 国際レジャー博覧学の目的で JCD 事務局の呼びかけに応じた、我々 JCD の参加メンバーは少数であるがため、わが協会の代表意識と若干の責任感を持つべきなのか？しかしそんな自覚とは裏腹な我々（否正確には 2 人の不屈者？）を乗せてカンタス航空 QF 204 便は、6 月 10 日成田を後にした。不屈者二人のバックには、しっかりとジョギング・ウェアとシューズその他必要用具が収められている。

● ブリスベン、クレストホテルのモーニングコールは正確に AM 5:30 を告げた。眼けまなこで用意をし、アンストリートから、ブリスベン河畔に沿い、ウィリアムストリートを経て、船で言えば舳先にあたる。行き交うジョッカーとは「good morning」の挨拶。日本では少ない光景である。ブリスベン河のヨットでは朝の仕度や、水鳥に餌を投げている人達、大型コリーと散歩する老人。オーストラリアの豊かさ、ゆとりを、目のあたりに見せつけ

られる。実に何もかもビックな国である。

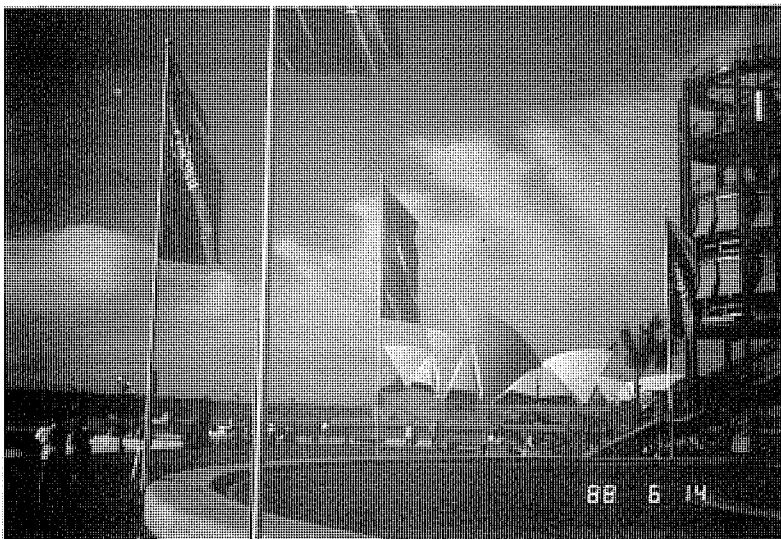
● シドニーのハイアット、キングスゲイト、ホテルを跳び出して、ウィリアム St を西へ、ハイドパークを突ききって、ドメイン公園、王立植物園東側を走り抜け、ファーム、コーブ沿岸に沿ってオペラハウスへ。王立植物園西側を南下して再び、ドメイン公園、ハイドパークに到達。まさしくシドニーのグリーンゾーンを踏破したことになる。朝の出勤時にルームメートの Mr 杉山と、中心街をジョギングする変な日本人二人は、ビックな彼らの眼にも風変わりに見えたかも知れないが、唯日本人のジョッカーに一人も遭わなかったことが、我々をして実に新鮮な気分にくれた。

ツアー出発前、何の計画性も持たなかったが、唯走ることで一致した 2 人の計画は、見事に雨に逢うこともなく、実現を見たのが何より感激であった。

観光気分で見学するオペラハウスの雄姿や、ハーバーブリッジを走りながら、その大きな環境の中に自分を飛び込ますことにより、全く違った景色に見えることは、走った人でなければ味わえない感慨である。現地人になりきる気分、それは自然においても、街中においても彼等の生活の一部を体験することだ。その時点より我々は旅行者から滞在者の気分なのだ。その一番手軽な行動は、誰にでも出来るジョギングであり、人間のもっとも基本的な運動であることでは、オーストラリア人も我々日本人も同じ気分である。「ジョギング万才」。

(注) JCD の皆さん、オーストラリア旅行記の何が参考になりましたか？

ゴメンなさい！



▲ シドニーオペラハウス

## 建国200年のオーストラリアに行く

高城茂四郎

1988年オーストラリアは建国200年を迎え、各地で地域発展が図られ、クィーンズランド州でも、さまざまな開発が試みられている。州都ブリスベーンでも、ウォーターフロント計画の一貫としてEXPO'88（国際レジャー博覧会・オーストラリア）が催されています。

このブリスベーンはオーストラリアで三番目の主要都市で、多彩な施設を完備した商業施設や高層ホテルを初めとして、観光施設に気くばりの感じられる近代的国際都市です。気候は亜熱帯性で、私達が訪れたのは冬（6月）だったが、スカッとした陽光のせい、日中はTシャツ一枚でも過せるほどでした。

このブリスベーンから南へ65kmの所にゴ



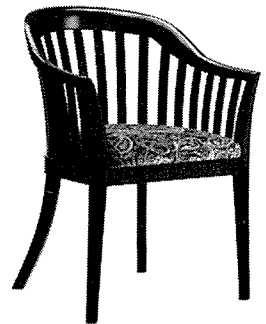
▲ ゴールドコースト・サーフェーズパラダイス

aboard



株式会社キノシタ

本社ショールーム 〒556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 ☎06-644-5541代  
 東京支店 〒123 東京都足立区鹿浜5丁目5-18 ☎03-855-4711代  
 名古屋営業所 〒458 名古屋市緑区曾根2丁目264番地 ☎052-624-6660代  
 商品管理センター 〒578 東大阪市若江東町4丁目3-1 ☎06-725-3031代



ールドコーストがあります。途中、サンシャインコーストの最も新しいリゾート「サンクチュアリー・コーブ」を視察する。なんと雄大で大自然の入江に点在するウォーターフロントリゾート!! 分譲地面積が121,401㎡。ゴルフ場、テニスコート、ヨットハーバー、人工ビーチ、ロンボールコースト、ヘリポート、クール・カジュアルなイメージの商店街。ファイアットホテル……。

それに200～300㎡もあると思われる高級リゾート分譲住宅。価格は日本円にして3,500万～12,000万円と聞く。又、オーナーの40%は日本人と聞いて、又、ビックリ。建物は高床式の平家で、パステルカラーの壁面に、白で屋根、柱、窓枠、扉とカラーコーディネートされている。その住宅が海面に影をおとし、手前のクルザーとのバランスは見事である。又、洗練された大型のクルザー、なんとも、惚れ惚れする。私も小さなヨットをセーリングしているが、ヨットクラブのキャプテンハットを買いこんで被ってみる。だんだんその気になって嬉しくなると腹がへる癖があるので、テラス風レストランに入ってシーフードスパゲティとこちらの州のビール「フォエックス」を一気にのむ。乾燥しているせいか、実にうまかった。幸せな気分になりバスでゴールドコーストへと向う。

砂浜が遠々と50kmも続く。これが、今話題となっている世界的に有名なゴールドコーストだ……。バルの窓から盛んにシャッターを切る音。“バシャーバシャーバシャー”さ



◀ サンクチュアリー・コーブ

すが大阪のデザイナー集団。さきほどまで、横で、こっくり、こっくり寝ていたT氏も、もうシャッターを切っている。しだいにバスがサーファーズパラダイスの中心部へと歩いてゆく、高層ホテルが建ちならび、レストランや、おみやげ物屋が集中している。バスを降りて黄金の海岸へと向う。サイケ調の派手なTシャツを着た若者達が、アイスクリームを片手にうろうろしている。又、道路の真中の一段と低い所で半ズボンのオッサン達が大きなチェスを楽しんでいる。街はカラフルで健康的な感じがするが、嫌味がない。ホテルは長期滞在者向けのキッチンの付いたコンドミニウムタイプが多いが、急増する海外からの観光客用に、ゆったりとした間取りの高級ホテルがふえていると聞く。黄金の浜へ出ると、いろんな国々の人々が、それぞれに楽しんでいる。我、グループは中年が多いせいか、ジャンパーに長ズボン姿が目立つ、ちょっと場、ちがいな感じもするが? ジットがまんというのも、このゴールドコーストまで来て損なような気がする。靴をぬぎ素足になる。砂がとっても気持ちいい。

ウィンドサーフィンをしている奴。砂でキャスルを作っている娘達。ハイレグで日光浴をしているアベック。皆それぞれである。時間と海水パンツのない私は、又、カメラを下げて街の中心、カビル通りやショッピングセンターを縦横に長くのびたアーケード、ブティックなどを又、写真を撮っている。貧乏症だな～と思いつつ。店のサインやカラーコーディネートが良い。あの感性は、いたゞきと思いつくシャッターを切っている……。

ゴールドコーストに行かれる予定の方には是非お勧めしたいホテルがあります。Sheraton MIRAGE(シェラントンミラージュ)まだOPENして半年ほどですが、実に静かでムードあるリッチなホテルですゾ!

お楽しみに……。

## ブラジル

“とにかく見てやろう、聞いてやろう。”

要 信行

今年に入って3度目の海外旅行が、初めての国ブラジルである。ただし遊びではなく、ホテル・レストラン経営のオーナーとの二人旅。先方は、何度となくブラジルへは行っているらしいが、当方はまるではじめて。南半球へ旅立つことすらはじめてだ…。途方もなく遠い国、ブラジル。日本から見れば、地球儀の丁度反対側、これはもう地球の果てに行くようなものだ。そして、熱帯雨林のアマゾンのジャングル。人が入ることを頑なに拒んでいるようなイメージ。それに、うってかわったような開放的なサンバのリズム。何が何なのかまとまらないイメージの中、「どちらにしても大きな国である。」を一つの考えとして、6月8日、成田を発ち機上の人となったのである。(ヴァリグブラジル航空、831便)目的地は、ブラジルサンパウロである。ロスアンゼルス～リオデジャネイロ～サンパウロ。

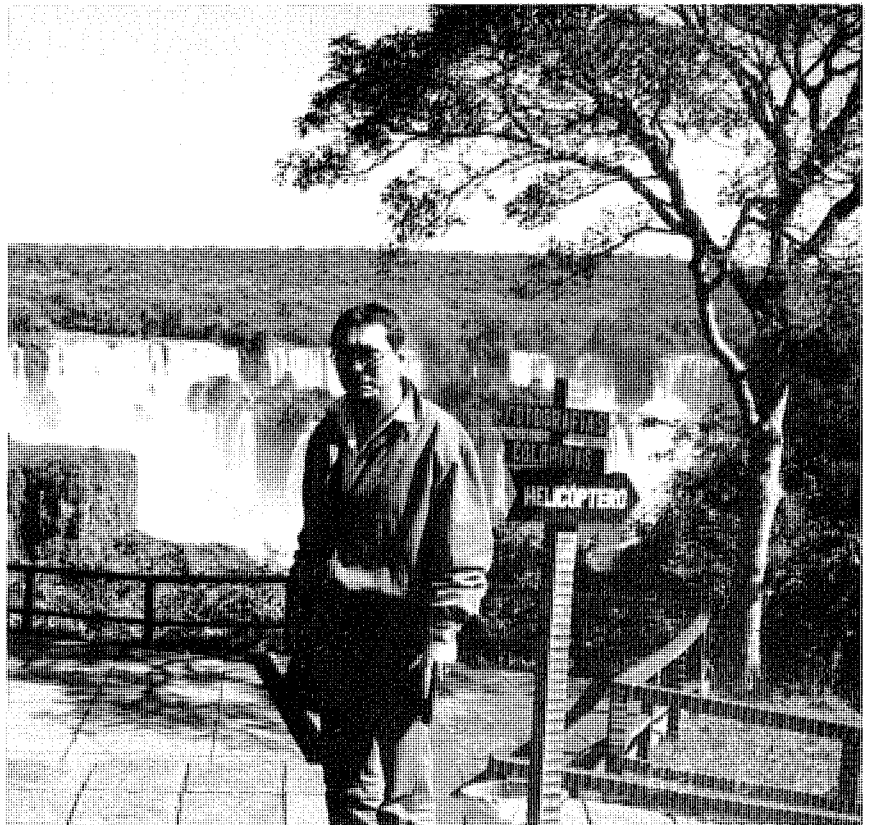
約26時間のフライトである。機中、たまたま同乗したブラジル移民80周年記念祝典に参加するおじさん、おばさんの団体機と一諸になり、ブラジルの話をたくさん聞きながら、暇を持って余すことなく長時間を過ごせた。彼ら、彼女達は、かつてブラジルへ移民をし、日本に帰ってきた人達の団体であったのである。朝もやの中、右手遠く

にコルコバードの丘に立つキリスト像を眺めながら、リオデジャネイロの空港に着いた。朝の6:30頃である。

1時間程の休憩のあと、再びサンパウロへ飛び発った。もう少し、あと1時間程でサンパウロである。“遠くへ来たものだ。乗りも乗ったり25時間。”ほっとする間もなく、サンパウロに着いてしまった。

今回の旅は、先に述べたように仕事である。主としてサンパウロに滞在し、ブラジル文化に触れ、レストランを中心に、店舗、施設の見学である。滞在中1泊で、ウルグアイの近く、ポルトアレグレという都市へも行く予定である。

さて、サンパウロ到着の第一印象であるが、車が多く、すべてと言っていいほど中型車で、



非常に汚なかったし、ドライバーのマナーも、決して良いと言えない。日本、特に大阪での交通マナーを経験している小生においても、危険を感じる事が多々あった。それにもっと驚いたことは、車中でタバコを吸おうと思ひ、灰皿をあけると、まったく汚れていない。「禁煙ですか。」と尋ねると、ドライバーは「どうぞ」とのこと。きれいな灰皿を汚すのは悪いなぁと思ひながら、タバコを口にしていると、さらに彼は「どうぞ、タバコは外に捨てて下さい。」と言って来るではないか……。初めて出逢った外国人に対してである。あとで聞いた話だけれど、全てのものとの考え方、考え方は、あまり日本を中心に考えない方がよいとのこと。その反対でとらえる方が、こちらではノーマルであるとのことであった。例えば、信号においても、進行方向が赤であっても、左右を確認し、他車がなければどんどん進んで行くのである。こんな話も耳にした。「ブラジルでは、生水を飲んではいけません!!」それは聞いた日本人が、日本では完全消毒された水が、蛇口からじかに飲めると、自慢気に話したという。それを聞いたブラジル人が、「水道の水を全部消毒しているんだって!!水道の水は、大部分がシャワーとか洗濯、掃除に使うものだ。飲み水はほんのわずかではないか…。それを完全に消毒する必要があるのだろうか。日本は随分無駄なことをしているんだね。」と言われたとか。なるほど聞き入っていたが、こうした彼らの考えも一理あることは否めないと思った。

前記したタバコの件についても、この国、ブラジルは多民族国家なのであるということから考えれば、なんとなく理解が出来るようだ。“人種のるつば”と称されるブラジル人のルーツは、16世紀に、まずポルトガル人が植民地化した時点にさかのぼり、彼らと原住民との混血が行われ、次いで砂糖産業の労働力としてアフリカから連れてこられた黒人との混血が加わり、19世紀に入り、イタリア、スペイン、ドイツ、フランス、アラビア、スラブ

人といた、欧州、中近東からの民族が流入し、20世紀になって、東洋から日本、韓国、中国人などが移り住んだ。こうした段階を経て、現在100に近い民族が混合する、ブラジル国家が出来上がっているのだ。そして、それぞれの民族は、コロニア（入植地）を形成し、自分達の文化を保ちながら、一つの国家を形成してきているのだ。悪くとらえれば、個人主義社会である。自分達が良ければ良いという考えだ。しかし、良く言えば、それぞれの文化を認めながら、他民族に自分達を押しつけないという考え方が成り立っているのである。よって、自己の生活空間や、例えば車の中などは、整理整頓し、美しく保とうとするが、外に対しては、余り気を配らないということになってくるようだ。街の中も非常に汚ないという印象であった。なるほど、ハイウェイも高層ビルも地下鉄もあり、近代化は成されているが、“家のゴミは外に放り出しなさい。”という考えが、彼らの日常性になっているかぎり、我々が思う美しい街並は、存在しえないように思われる。

このように考えると、このブラジルという国の今日の政治経済の歪みが見えてくるようだ。しかし、我々も、少し過去の日本の近代化を顧みれば、そのようであったし、まだ我々の生活環境の中にも存在しているように思われる。でも、彼らは底抜けに明るく、陽気である。お金が無くても、その日を楽しく過ごしている様子が、力強く大きく感じられたのも事実である。

生活費は、日本の $\frac{1}{10}$ ぐらいであった。\$ 100で約Cz\$ (クルザード) 18,000。ヤミで両替をすると、約Cz\$ 24,000。平均的サラリーマンが1ヶ月約\$ 200ぐらいの生活らしい。小生が滞在している間に（6月の初めから6月15日）18～20%のインフレであると新聞に書かれていた。今、またブラジルは、大変な時期を向かえているのだなぁと実感した。でも国民は、先にも述べたように非常に明るい。こんなこ

とが日本で起こったなら、どうなるのかなぁと思うと、ぞっとする思いであった。

サンパウロは冬で、朝の気温が8℃ぐらい。日中で18～20℃。少し寒い日は、コートが欲しいような気候であった。

滞在3日目に知り合った女性、インテリアデザイナー（ただし年齢50才位、弁護士の奥様）と、彼女の車で市内見学を行ったとき、初めてブラジルの内でブラジルでない、ヨーロッパのどこかの街の中にいるような、ショッピング街に連れて行かれた。サンパウロの心臓部パウスタ大通りに交差する、アウグスタ通りである。高級家具、室内装飾インテリアショップ、ハイファッションの専門店が集り、並木道の両側の店舗は、普通の家を店舗に改装し、外装をリフレッシュし、個々の存在を意識させるためのカラーリング及びテントが印象的であった。住宅を店舗にしているため、だいたいの建物は2階～3階建てで、日本のような店舗ビルがないために、圧迫感がなく何か整理された住宅街を散歩しながらショッピングしているような気分になり、カフェテラスに入って自然にコーヒータムとなっていく自分に全く気が付かないという、そのような街である。小生がカフェテラスで一服なんて、絵にも写真にもならないが、そのような雰囲気である。道の向こう側のブティックの売り子さんが、店の前で笑顔で手を振ってくれた。もちろん、私にではなく横の女史にである。でも、ショッピング街でこのような雰囲気を味わったのは、初めてのような気がして、とても満足であった。当然その売り子さんがとてつもない美人であったからである。日本でいえば、原宿、表参道を小さくし、建物を全て住宅化し（2F～3F建て）、日本の美人の売り子さん達を店の外に立たせているといった感じかなぁ……

ここは良かったですよ。

まだまだ書くことはたくさんあると思うけれど、書ききれない。レストランのこと、食事

のこと、プレイスポットのこと。10日間の旅であったが、本当に多くのことに接することが出来た。これもツアーではなくフリーで行くことが出来たからであろう。いつも旅をするとき思うのであるが、個人のお金でフリーの旅をしなければいけない、と考えている。そこには、必ず素晴らしい出逢いがあり、発見があり、明日の自分を少し大きくしてくれるものがある。

帰りは一人旅である。同行のオーナーは、ブラジル移民80年祭に出席のために残り、小生一人のフライトである。サンパウロ6/15 20:45（ヴァリグブラジル航空832便）発、成田6/17 13:30着。帰りはリオデジャネイロ～ペルーのリマ経由、ロスアンゼルス、成田、大阪に着いたのは6/17 19:00。なんと約35時間であった。時間はかかったけれど、今こうして思い起こせば、本当に良い旅であった。改めてブラジルの大きさ、奥深さ、そして明るく力強い人々の思いがめぐってくる。ぜひ、もう一度ゆっくりと時間をかけて行って見たい国である。

新しいものより古さの残るものの方が、何か後になって心を引き付けるのだなぁと思う。ややもすると、今、今の連続で生きて行かなければならない自分を、ふと立ち止まらせるのには本当に旅は素晴らしい。

— Ate Iogo —

- 今号は海外記が多くなりました。会員は東奔西走南飛北祥
- 今は冬、南半球オーストラリアのウオーターフロントをみて博覧会、リゾート開発、商業施設も豊かさの国民性を感じ、南十字星の輝く夏の夜の夢をふくらませ、再度、渡豪のチャンスを抱く。
- JCD関西の荘年？ 2人、南半球でジョギング、ブリスベンもシドニーも日常のコースと化す。野村・杉山両会員のパワー驚き！  
(真)

## スシマス ジャスコ店 1F 東大阪市小阪

鮎樹食品株式会社

(株) ヴィナス工芸社 松田 毅

テイクアウトの寿司店として、関西一円にチェーン展開して、現在80店舗を数えるが、今後さらに出店計画が進んでいる。

路面商とインショップの両方の店舗を持つが、これと云った統一されたデザインポリシーがなく、顧客に対する印象度が薄く、これ

からは、イメージ統一の店創りが必要となってくる。

設計意図として、寿司の言葉から、和風的感觉を残し、新鮮な商品であるため清潔感をとの発想から、トータルイメージとして、黒の面格子をテーマに、白と黄緑で清潔さ!! 朱赤で和風イメージ!! そして、看板にオレンジを使う事で顧客に強烈なアピールができれば……と、設計しました。





## 盛り上げる談話室と夏季パーティー（7月23日）

太田真昭

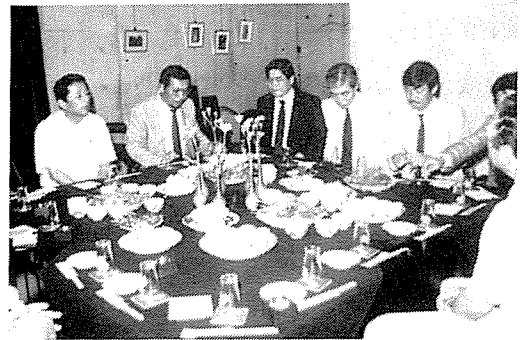
梅雨明けしたのに雨空の中、前号でご紹介した原川公一会員の作品、西宮市甲東園の「時遊空館」で今年の夏季パーティーと談話室が、開催されました。



第一部、談話室は、京都で活躍されている今西 慧氏の「女へんの？……」というユニークなテーマで氏の先見性と洞察力を知るお話しは、商業施設にかかわる私達の基準ともいえる物指しが今後どの単位で変化してゆくのか、新生児から老人まで、男女の生活、現況をみて商品性や環境性まで必然的に変る今後の生活と意識を側面から見た感がいたします。表意文字の漢字の組み合わせ男偏や女偏、特に女偏の社会は未来永劫を暗示するかの如く、数多いものを我々は使っています。短い時間でしたが、エネルギッシュな先生のお話しに要委員長の謝辞、拍手で先生に御礼の意を表しました。

第2部はこの「時遊空館」B1、本来のスペースが、パーティー会場に早変わり 里吉副委員長の司会で赤松常任理事の挨拶、自由乾盃で洒落れたテーブルの上に盛られる珍味とお酒、——飲む程に喰べるほどに参加の人々とうちとけ、新入会員や新入賛助会員、等の挨拶、名刺交換など新しいコミュニケーションが始まりました。

今回は予定人数を上廻り、しかも賛助会社や会員事務所等から、又友人として女性の参加が多く、初対面に目を白黒させて話しがは



ずみ、声は大きく、一つの仲間意識が充足された時間でした。ユニークな空間、設計者の原川氏、オーナーご夫妻の挨拶、ナショップライティングコンテスト入賞のこの作品の中で盛り上がること上昇気流、男女混合のチームによるクイズゲームが始まり、白井会員の出題で 今西 慧先生のテーマを受け「女性の意識」を問題化した〇×、①、②、③ 択を答えにグループの応援、歓喜して喜ぶチーム 結局3位迄を決め協賛していただいた多数の景品を全女性にも渡し、いつまでも余韻の残る、夏の夜のパーティーでした。

パワーあり、コミュニケーションあり美酒美味と、新しい環境の中で過した一刻、次の楽しみを胸に夜の外へ出ました。組織委員の皆様、ごくろうさまでした。

夏季パーティーの「時遊空館」内 71 種類の黒い椅子がスペースに散在、椅子取りゲームかな？と思いましたが、レストランチェアの全員集合、よく集めましたなあー。パワーのJCD関西、参加してこそコミュニケーションの実。  
(真)

## 第65回 J.C.D. ゴルフ同好会

日 時 昭和63年7月15日(金) 9時20分集合 時間厳守  
 場 所 琵琶湖カントリー倶楽部 三上コース 9時59分スタート  
 滋賀県栗太郡栗東町御園 ☎(0775)58-0121(代)  
 賞 品 優勝 準優勝 3位 NP DC BG 参加賞

組合せ表

9:59	1組	高田 博允	22	赤松 良一	19	柳瀬 義明	32		
10:13	2組	植沢 俊一	15	東 徹	19	大田 貞	22	田窪	
10:06	3組	片岡 正範	17	伊藤 徳男	22	山川 善男	33		
10:20	4組	山田雄二郎	12	今西 茂雄	36	田原 孝信	36		

競馬枠順

枠	馬 名	重量	騎手	厩 舎	前走	前々走	OUT	IN	Tot	NET
1	イソノミサキ	13	磯崎	日建店創						
	マウントリバー	33	山川	小泉産業(株)		12着	53	61	114	81 4
2	ナウノホマレ	15	植沢	NOWデザインハウス	3着	3着				
3	ビックライト1	17	片岡	大光電機(株)		10着	46	51	97	80 3
	リュウセイコー	32	柳瀬	創建設計建築事務所	4着	9着				
4	レッドパイン	19	赤松	(株)赤松店舗研究所		6着				
5	アズマヒガシ	19	東	(株)布谷		優勝				
	ウエストボーイ	36	今西	今西デザインルーム						BB
6	カワチオー	22	大田	オオタ商計画事務所	準優勝					
	タハラボーイ	36	田原	今西デザインルーム						BM
7	タカダシンボリ	22	高田	第一建設工業(株)	7着	8着				
		15	田窪				41	45	86	71 2
8	イナガクリバー	12	山田	(株)エービーシー商会	優勝	7着	42	40	82	70 優勝
		22	伊藤	小泉産業(株)			53	51	104	82 5

伝統と栄光に輝くJCDゴルフコンペは上記の内容で華々しく挙行されました。  
 当日天候不良でしたが、出場者いづれも健闘、上記のような成績でした。  
 次回は9月の第3金曜日ー16日です。より多くのメンバーのエントリーを期待致します。  
 尚、馬券は7ー8でした。

素材の質が語る、  
 空間創造  
**イノベーション**  
 INNOVATION+RENOVATION  
 プラスリノベーション

ABC商会は、いま、数々の商品でイノベーションを、  
 そしてまた増・改築、改装のシステムで  
 リノベーションを皆さまにご提案いたします。

### ABC商会のショールームへどうぞ

アームストロング、ユーロセラム、コーラーをはじめ、世界の超一流品だけを一堂に集めた  
 ABC商会のショールーム。住宅・店舗・ビル・工場等の増・改装の前にぜひ……。

(株) **ABC** 商 会  
 大阪北営業所 大阪市淀川区西中島四丁目2番9号  
 TEL 06(305)2727 千532  
 大阪南営業所 大阪市東区京橋一丁目7番地 OMMビル8F  
 〒540 TEL 06(943)2831

# 委員会だより

JCD中部支部運営

都市商環境デザイン会議'88名古屋

都市・商い・環境——デザイン

■趣 旨 1989年はDESIGN YEARとして全国各地で多彩なイベントが展開される年であるとともに世界デザイン会議及び世界デザイン博覧会が名古屋で開催されるにさきがけ、そのプレイベントとして、JCD都市商環境デザイン会議'88を名古屋で開催することは、21世紀の都市トレンドを語る上で大きな意義をもっています。

もとより商環境は、都市を構築する上で最も重要なファクターであり、都市の活性化と生活文化の創造に大きな役割を演じてまいりました。21世紀へ向かって、国際化、融合社会化の潮流の中で都市商環境の国際化への位置づけとともに、生活を中心に文化、情報、産業、都市、リゾートを問わず異分野の創造的ファクターとの融合化感覚という新しい発想の視点に立って、21世紀都市・商い・環境—デザインについて考えてみたいと思います。

日時／昭和63年9月8日(木)

午前10時～午後5時30分

会場／名古屋国際センター(1F/別棟ホール)

主催／(社)日本商環境設計家協会(JCD)

共催／中日新聞社

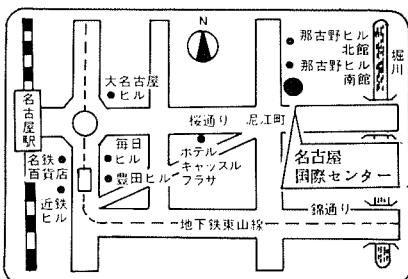
協力／世界デザイン会議運営会

(財)世界デザイン博覧会協会

■デザイナーズコミュニケーションパーティ

名古屋国際センター26F 中国料理東天紅

演奏：鈴木尚とカンサスシティ6



会場は1階  
パーティー26階  
中国料理 東天紅

■受講料 ¥5,000(パーティ参加の方別途 ¥5,000)

■募集人員 350名(定員になり次第、締切ります。)

■申込締切 63年8月31日(水)

■申込先 (社)日本商環境設計家協会(JCD)

中部支部事務局 担当一堀江

名古屋市西区那古野2-2-1

(カトウ美装内2F) TEL 052(561)2260

■振込先 (社)日本商環境設計家協会

中部支部事務局

『都市商環境デザイン会議'88名古屋』係

東海銀行明道町支店

口座番号一普通 479-853

## 委員会だより

### 情報委員会

●7月12日(水)

場所 JCDルーム

議題 第16号編集会議

### 組織委員会

●7月23日(土)

場所 時遊空館

サマーパーティー

### 編集後記

暑中御見舞申し上げます。

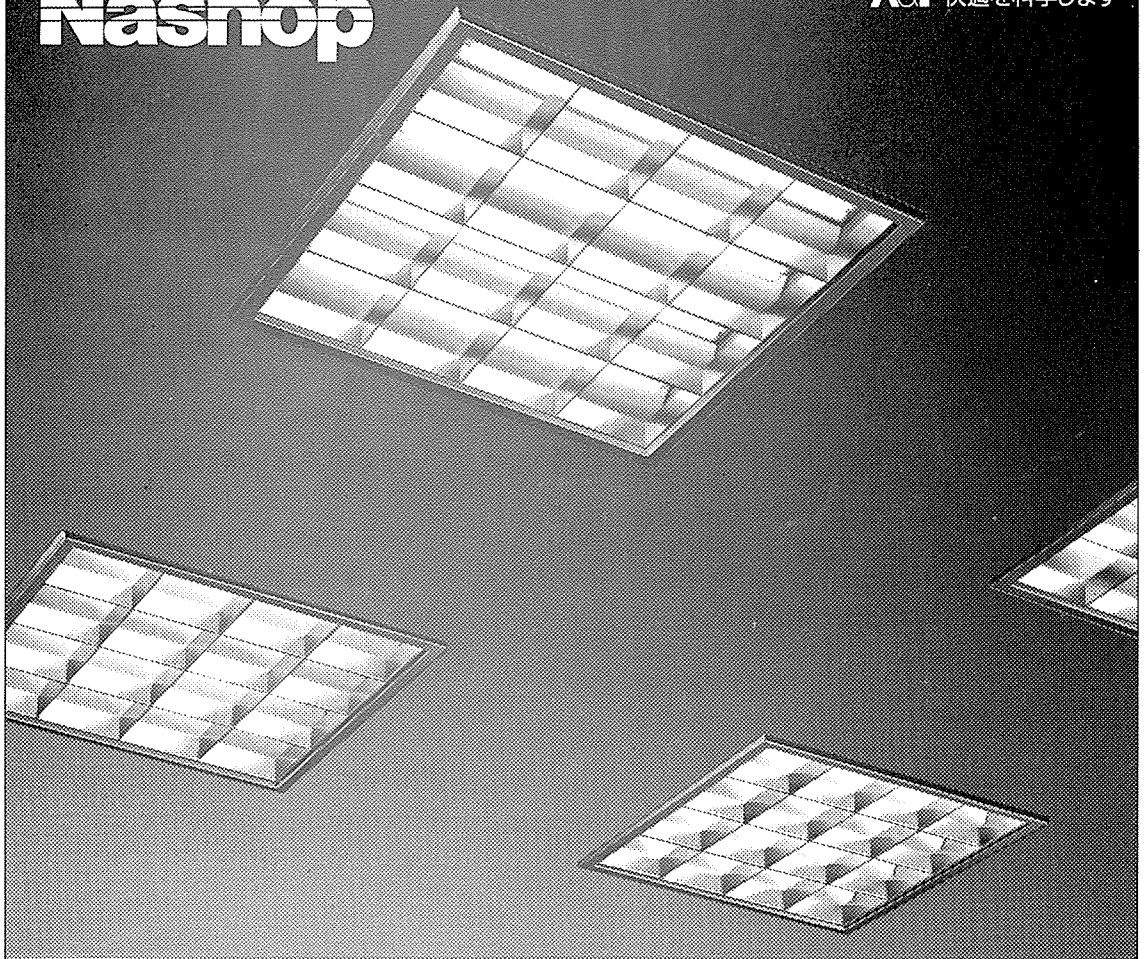
7月発行予定でした第16号の発刊が遅れましたことをお詫び致します。

今回はインターナショナルな内容が盛りだくさんで、非常に充実した紙面をお届けすることが出来ました。原稿依頼をお願いしました会員の皆様には厚くお礼申し上げます。

H. Y

# Nashop

A&I 快適を科学します



器具サイズ $\frac{1}{3}$ 。形は正方形。  
必要照度で選べる4タイプが揃いました。

カテゴリーを素上げます。●カテゴリーの請求  
お問い合せは、(株)ア&イ 大塚市本部  
〒104-8608 松山下町4-10-1  
全館照明・空調・設備本部  
03-5600-1133 (8:00~17:00)



スクエア350シリーズ



パラコンフォート30  
28Wツイン1蛍光灯2灯(バルック)  
NF22712GL ¥37,500

スクエア250シリーズ



パラコンフォート30  
27Wツイン1蛍光灯2灯(バルック)  
NF22602GL ¥27,000

スクエア600シリーズ

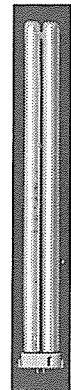


パラコンフォート30  
55Wツイン1蛍光灯4灯(バルック)  
NF54710E.P.H.V. ¥105,000

スクエア450シリーズ



パラコンフォート30  
35Wツイン1蛍光灯4灯(バルック)  
NF34710K.P.H.V. ¥72,000



新光源ツイン蛍光灯を採用

コンパクト、ハイパワー、高演色性の新光源  
《ツイン蛍光灯》を採用したスクエアシリーズは  
必要照度で選べる4タイプ。どれも従来の  
直管蛍光灯タイプとはほぼ同光束で器具サイ  
ズは約 $\frac{1}{3}$ 。しかも正方形ですので店舗空間に  
方向性が出ません。さらに600・450  
シリーズは業界初のインバータバラストを採用。  
省エネ、軽量化、チラツキカット、瞬時点灯、  
低騒音、高効率を実現しました。  
※600シリーズは40W直管蛍光灯6灯用、450シリーズは40W直管  
蛍光灯3灯用と、300シリーズは20W直管蛍光灯4灯用と250  
シリーズは20W直管蛍光灯3灯用とそれぞれ比較。当社比。

店舗用照明器具

スクエア(600・450)  
(350・250)シリーズ  
ツイン蛍光灯採用